

株主メモ

|                        |   |
|------------------------|---|
| 事業年度                   | 4月1日～翌年3月31日  |
| 期末配当金受領株主確定日           | 3月31日   |
| 中間配当金受領株主確定日           | 9月30日   |
| 定時株主総会                 | 毎年6月  |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 同連絡先                   | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号<br>Tel:0120-232-7111(通話料無料)  |
| 上場証券取引所                | 大阪証券取引所(ジャスダック市場)   |
| 公告の方法                  | 電子公告により行う。<br>公告掲載URL <a href="http://www.lachd.co.jp/">http://www.lachd.co.jp/</a><br>(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

単元未満株式の買増・買取請求について

単元未満株式(当社の場合、100株に満たない株式)を所有される株主様には、単元未満株式の買増・買取の2つの制度がございます。株主様のご所有状況に合わせてご利用ください。

●買増制度

お手元の単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、当社に対して単元未満株式の売り渡しを請求できる制度。

●買取制度

お手元の単元未満株式を、当社に対して時価でご売却いただける制度。

具体的なお手続きにつきましては、証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社等にお問合せください。

また、特別口座に登録されている株主様は、株主名簿管理人連絡先へお問合せください。

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手順ではございますが、右記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

- アンケート実施期間は、本報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

<http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 3857

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールにより URL 自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」TEL：03-5777-3900(平日 10：00～17：30) MAIL：info@e-kabunushi.com

ラックホールディングス 株式会社

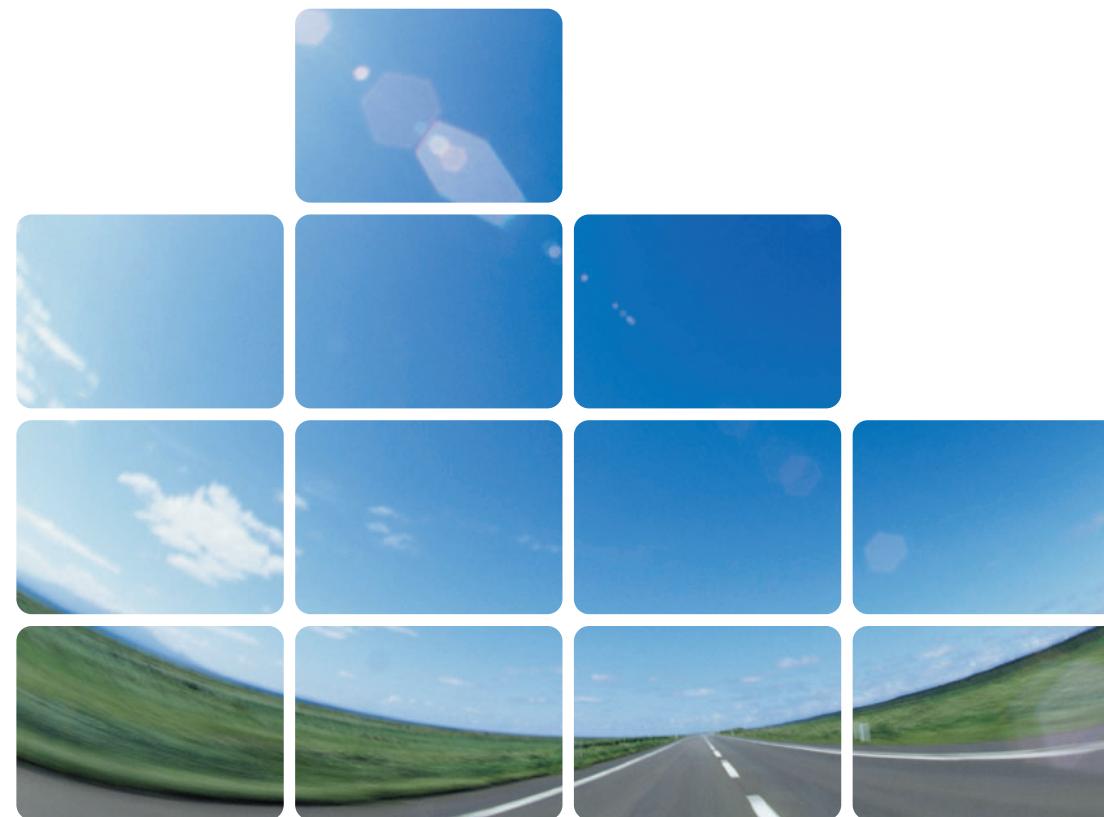
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー

<http://www.lachd.co.jp/>

(お問合せ) 経営戦略室広報部 Tel：03-6757-0107 E-mail：ir@lachd.co.jp



Business Report Vol.5



ラックホールディングス 株式会社

## 業績回復に向けて



Gen Mishiba

代表取締役 会長 兼 社長 三柴 元

株主ならびに投資家の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ラックホールディングス株式会社の第3期年次報告書をお送りするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当期における国内の景気は一部で回復の動きが見られたものの、情報サービス業界は、企業のIT投資に対する姿勢が一段と慎重になり、顧客ニーズが高度化・多様化するなか、ますます競争が激化する非常に厳しい事業環境でありました。

当期の業績につきましては、業績予想を下方修正し、経常利益は4億7百万円であったものの、移転に伴う特別損失5億32百万円を計上したことにより、結果として4億12百万円の当期純損失を計上することになりました。株主ならびに投資家の皆様には誠に申し訳なく心からお詫び申し上げます。

この主な要因は、想定を超える企業のIT投資の抑制という影響を受けたこともさることながら、環境の変化へ適応した、グループ総合力を活かした事業展開や業務の効率性の追求など、業務変革への取り組みを推進したものの、十分な成果をあげ得なかったことによるものと重く受けとめております。

こうしたことを真摯に反省し、改めて成長戦略に立ち、本年4月より事業推進体制の再構築を柱とするグループ全社の組織改革を実施しました。また、5月の当社グループの移転集約を機に、役職員一丸となって、グループ総合力を活かした事業展開によるシナジー効果を発揮するとともに、業務の効率性を高めコスト低減を推進する業務変革を一段と加速し、早期の業績回復を果たしてまいります。

株主ならびに投資家の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 第3期 ハイライト Highlights

|           |         |         |          |
|-----------|---------|---------|----------|
| ▶ 売上高     | ▶ 営業利益  | ▶ 経常利益  | ▶ 当期純利益  |
| 322億15百万円 | 6億74百万円 | 4億07百万円 | △4億12百万円 |

## 飛躍に向け実施した経営施策

### 事業統括本部(現事業統括室)の設置

お客様の視点から3事業を横断的に統括する事業統括本部を設置。グループ各社の総合力の結集による営業・提案力を強化させ、高度化・多様化するお客様のニーズに応えたサービスを提供します。

### 業務変革室の設置

業務プロセスを見直し、BPRを推進する業務変革室を設置。グループ内のシェアードサービスおよび業務プロセスの標準化による管理費の削減を図っています。また、本社移転に向けてワークスタイルの変更やグループ内ポータルサイトの統一などシナジー効果を発揮するための施策を推進します。

### 経営人材の育成

全社員に業績連動型年俸制度を適用し、経営目標の共有化を推進。また、経営者の育成に向けリーダー研修を実施。研修の成果として、受講者からの提案を経営に反映します。

### 上海ラックの開設

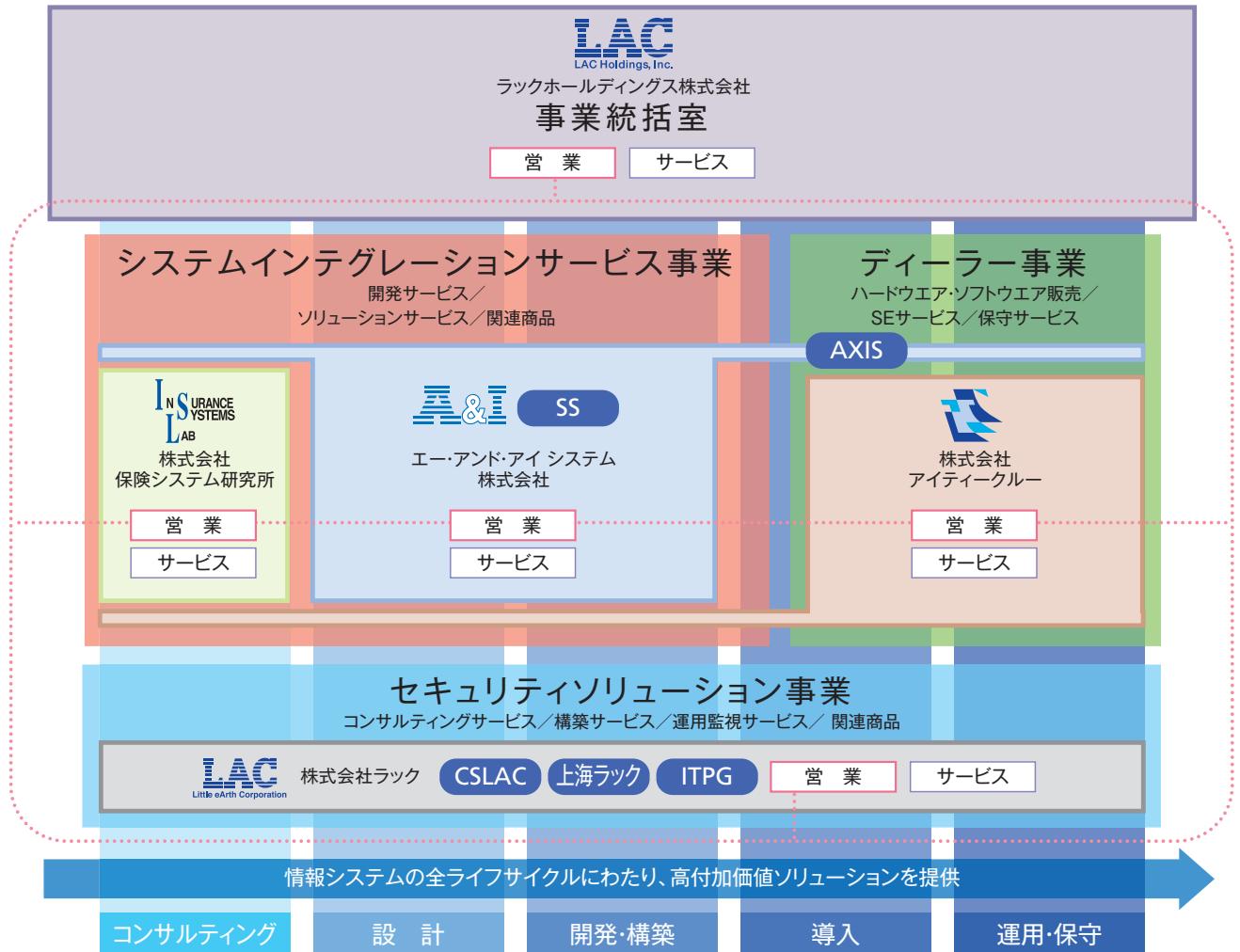
韓国に続き、中国・上海に孫会社「上海ラック」を設立。成長著しい中国市場におけるセキュリティ事業を拡大するなどアジアを中心としたグローバル展開を推進します。

### 財務基盤の拡充

昨年11月に20億円の優先株式を発行し、財務基盤の拡充と長期運転資金の確保を図りました。これにより自己資本比率は25.0%から30.6%になりました。

## 事業ポートフォリオ

グループ全体として事業領域が拡大しポートフォリオが強化され、より広範囲なビジネス提案が可能になりました。



SS：株式会社ソフトウェアサービス、AXIS：株式会社アクシス、CSLAC：Cyber Security LAC Co.,Ltd.、上海ラック：LAC CHINA CORPORATION CO.,LTD.、ITPG：株式会社ITプロフェッショナル・グループ  
※株式会社保険システム研究所は、本年7月1日付で譲渡される予定であります。

## グループのスペシャリティ

**vol.1** SIS事業(システムインテグレーションサービス事業)  
SIS事業の中核企業である「イー・アンド・アイ システム株式会社」について、ご紹介します。

### イー・アンド・アイ システム株式会社

[社員数] 個別：671名 連結：845名 (2010年4月1日現在) [設立]1987年5月1日 [代表取締役社長] 高梨 輝彦



長年培ってきた開発サービスのノウハウとソリューションサービスの独自技術により高い価値を提供し躍進する成長企業の経営戦略に確実に応えます。



#### Top Message

Teruhiko Takanashi

昨今の厳しい市場環境の中でお客様ニーズをつかむキーワードは「コストダウン」と「付加価値向上」であると考えております。我々は、従前のビジネスにおける生産性向上に取り組み、安定収益源の更なる拡大を目指すとともに、コストダウンを提案するソリューションをレバレッジに新たな需要を喚起していきます。また、当社の事業にラックホールディングスグループの各事業会社の特色を付加することで、お客様にとって真の価値を提供するSIベンダーとしてビジネスをリードする企業を目指します。

#### ■ 開発サービス

お客様と目標を共有し常に共通した意識のもと、システム企画・要件定義から設計開発そして移行・運用までの全てのサービス工程をご提供いたします。各々の技術分野別にエキスパートを組成し、先進的かつ最適なシステム構築を実現します。

#### ■ ソリューションサービス

お客様の抱える多様化する課題へアプローチし、課題改善はもとより更なる企業競争力向上へ貢献します。付加価値の高いソリューション提供によりお客様の真のビジネスパートナーを目指します。

#### 最近の開発・ソリューション事例

|                 |   |
|-----------------|---|
| 大規模システム基盤構築     | 大規模なデータ・複雑な機能を支える大手都市銀行の次世代システム基盤構築               |
| 経営統合            | 大手カード会社の経営統合におけるシステム統合対応                          |
| 法改正対応           | 保険の銀行窓販全面解禁、貸金業法・割賦販売法等の法改正におけるシステム対応             |
| 地方自治体向けアウトソーシング | 福島県会津地区6町村へ共同システム構築およびサービス提供開始(2010年4月～)          |
| セキュリティソリューション   | ラックとの共同案件。大手鉄道会社の不正アクセスで改ざんされた予約サイトのセキュアなサイトへの再構築 |
| 可視化ソリューション      | システム資産の棚卸および最適なシステムや運用コスト低減のコンサルティング              |

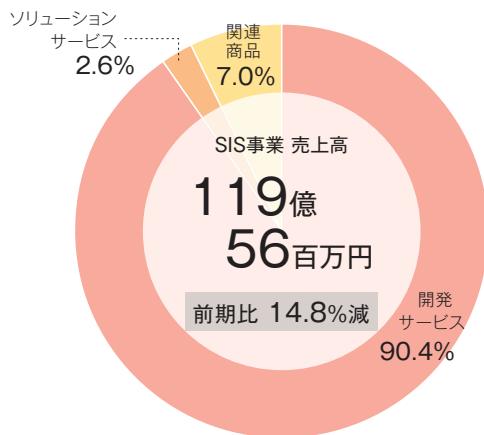
#### 最新技術動向

|               |  |
|---------------|--|
| クラウド技術        | 所有から利用へとシステムの活用方法が大きく変換しはじめてます。当社はいち早くクラウド技術を活用した最先端のシステムの研究開発に取り組んでいます。パブリック～プライベートクラウド具現化における開発ベンダーとしてシステムの新たな潮流・未来に投資します。 |
| 生産性向上開発プロセス手法 | 昨今の複雑で変化しやすいシステム開発要件に俊敏かつ柔軟に対応することを目指した開発プロセスの導入研究を推進しています。お客様の意向をより忠実に反映し、俊敏なソフトウェア開発を行うアジャイル手法を導入し、生産性の向上を図ります。            |

## SIS事業(システムインテグレーションサービス事業)

企業のIT投資が引き続き抑制されるなか、既存顧客からの受注の継続・拡大と新規顧客の開拓による受注拡大に注力するとともにプロジェクトの品質管理の強化、稼働管理の徹底や外注費の抑制により収益確保に努め、売上高は119億56百万円(前期比14.8%減)、営業利益は14億31百万円(同22.0%増)となりました。

売上高(サービス別)



### 開発サービス

売上高 **108億5百万円** 前期比 15.8%減

大手銀行向け常駐案件の受注が好調に伸びているものの、証券業ならびに人材派遣業向け案件の大幅な減少、保険業向けのコンサルティングおよび開発案件の減少などにより、売上高は108億5百万円(同15.8%減)となりました。

### ソリューションサービス

売上高 **3億15百万円** 前期比 24.0%減

既存顧客の継続案件が堅調に推移するなか、人材派遣業向け案件の一部解約、自治体向け行政システムの新規受注案件において契約形態が変更され、当期に一括計上できなくなったことにより、売上高は3億15百万円(同24.0%減)となりました。

### 関連商品

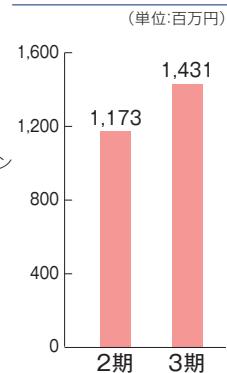
売上高 **8億34百万円** 前期比 6.2%増

SI案件に付随する大型案件の受注が寄与し、売上高は8億34百万円(同6.2%増)となりました。

売上高



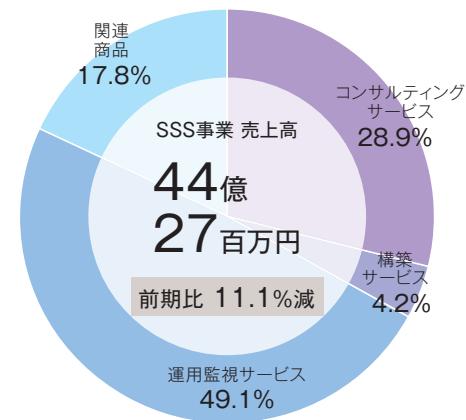
営業利益



## SSS事業(セキュリティソリューションサービス事業)

2009年12月に上海ラックを設立し、中国を中心とする日系現地法人向けのセキュリティサービスの提供を開始いたしました。また、2010年3月に日本ユニシス株式会社と協業し、eラーニング形式での情報セキュリティ教育教材を開発し、海外展開をしている多国籍企業の全従業員が受講可能な教育システムを構築するなど、新たなサービスの創出と市場の開拓に努めてまいりました。企業間サービス低迷の影響などにより、売上高は44億27百万円(前期比11.1%減)、営業利益は5億55百万円(同15.8%減)となりました。

売上高(サービス別)



### コンサルティングサービス

売上高 **12億81百万円** 前期比 8.9%減

セキュリティ教育関連サービスやセキュリティ事故の多発に伴う緊急対応サービスの受注が好調だったものの、常駐型案件の一部契約解除や請負型案件の受注不振により、売上高は12億81百万円(同8.9%減)となりました。

### 構築サービス

売上高 **1億85百万円** 前期比 43.3%増

ログ統合管理ソリューションや監視用機器の導入サービスの販売などにより、売上高は1億85百万円(同43.3%増)となりました。

### 運用監視サービス

売上高 **21億73百万円** 前期比 2.2%減

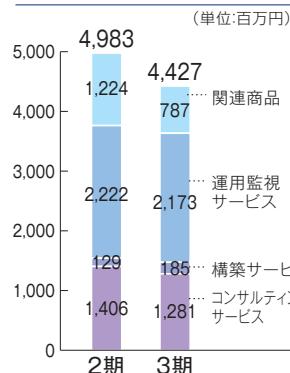
診断サービスにおいて第4四半期に受注が大幅に増加しましたが、第3四半期までの受注不振をカバーできなかったことに加え、監視サービスの新規案件の受注も振るわなかったことにより、売上高は21億73百万円(同2.2%減)となりました。

### 関連商品

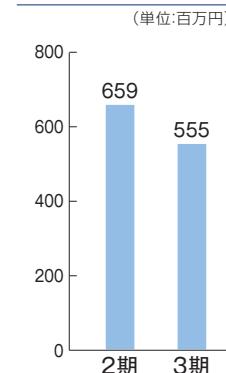
売上高 **7億87百万円** 前期比 35.7%減

保守の継続案件は堅調に推移いたしました。監視サービスの新規受注が低調だったため付随する商品の販売が伸び悩んだこと、サービスに付随しないセキュリティ関連機器の販売を縮小したことにより、売上高は7億87百万円(同35.7%減)となりました。

売上高



営業利益

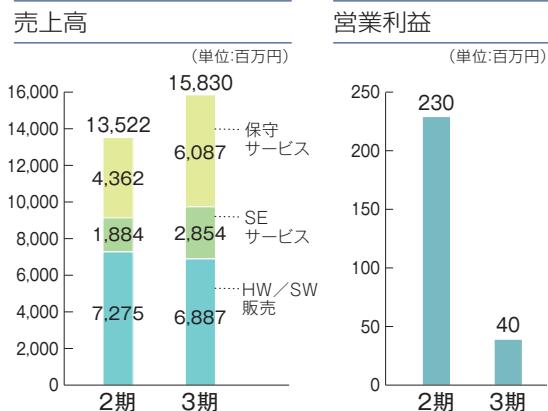
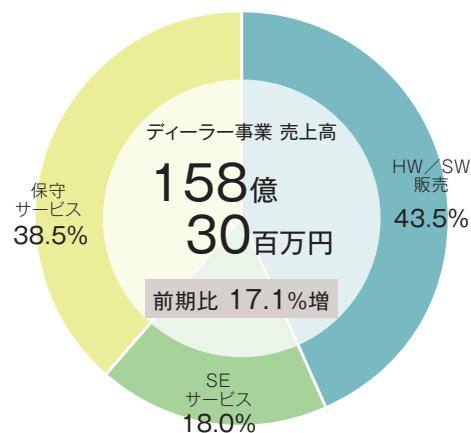


## ディーラー事業

主要顧客である金融機関を中心に、既存の顧客基盤へのサービスを提供するとともに、営業力を強化し新規案件の獲得や金融業界以外の市場開拓に挑戦するなど受注拡大に努めたものの、金融機関のIT投資の抑制が想定以上に長期化したことにより、売上高は158億30百万円（前期比17.1%増）、営業利益は受注不振により40百万円（同82.5%減）となりました。

※ディーラー事業の前期の実績は2008年8月から2009年3月までの8ヶ月間の数値で、それをもとに増減率を算出して記載しています。

売上高(サービス別)



### HW/SW販売

売上高 **68億87百万円** 前期比 5.3%減

主要顧客である金融機関のIT投資への慎重な姿勢が継続された影響を受け、第3四半期以降に改善されると予想していた受注が大幅に伸び悩んだこと、一部案件に受注遅れや失注が発生したことに加え、金融業界以外の市場開拓が進まなかったことにより、売上高は68億87百万円（同5.3%減）となりました。

### SEサービス

売上高 **28億54百万円** 前期比 51.5%増

内製化の推進など稼働率の向上に努めましたが、HW/SW販売の受注不振により導入サービスの受注も伸びず、売上高は28億54百万円（同51.5%増）となりました。

### 保守サービス

売上高 **60億87百万円** 前期比 39.5%増

HW/SW販売の受注不振により新規保守案件の受注が伸び悩んだうえ、保守更新の受注も不調だったことにより、売上高は60億87百万円（同39.5%増）となりました。

## NEWS

### 2010年5月、都内に分散していたラックホールディングスグループ各社を「平河町森タワー」に移転集約

～更なる生産性と付加価値の向上により  
経営効率を高め、イノベーションを推進します～

#### オフィス統合がもたらす3つの変革

##### 1 コスト構造の変革

オフィスの集約によりこれまでのオフィススペースを約35%圧縮。家賃・光熱費等のコスト低減をはじめ、ペーパーレス化の推進やシェアードサービス体制の整備による業務の効率化、間接要員の適正化などグループ全体のコスト低減と経営効率を向上

##### 2 コラボレーションスタイルの変革

グループ会社間のコミュニケーション・コラボレーションを強化し、意思決定の迅速化や情報共有の促進を図ることで、より戦略的なグループ経営の実践と事業推進におけるジナジー効果を創出

##### 3 ワークスタイルの変革

会社間、部門間、役職を問わずグループ会社全体でのフリーアドレス制を導入するとともに全館無線LANによるネットワーク環境を構築、また、遠隔データ会議システムの導入により在宅勤務者や海外の子会社ともPC上で相手の顔を見ながら、双方向でデータファイルを操作できる環境を実現するなど、新しい働き方による変革を実施

#### ITインフラのセキュリティを守るJSOC

子会社のラックが運営するセキュリティ監視センター「JSOC」も同ビル6階に移転。ネットワーク・セキュリティに関するプロフェッショナルであるアナリストとエンジニアが、24時間・365日、日々発生するセキュリティ上の脅威からお客様を守っています。

JSOC : Japan Security Operation Center



平河町森タワー

日本の中枢機能に至近の地であり、周辺には皇居や官公庁、国会議事堂、最高裁判所や国立劇場等の国を代表する施設が数多く立地しています。



セキュリティ監視センター「JSOC」

## 連結貸借対照表(要旨)

| 科 目            | (単位:百万円)            |                     |
|----------------|---------------------|---------------------|
|                | 当期末<br>2010年3月31日現在 | 前期末<br>2009年3月31日現在 |
| <b>【資産の部】</b>  |                     |                     |
| 流動資産           | 11,086              | 11,534              |
| 固定資産           | 10,962              | 10,643              |
| 有形固定資産         | 950                 | 1,094               |
| 無形固定資産         | 4,914               | 5,612               |
| 投資その他の資産       | 5,097               | 3,936               |
| <b>資産合計</b>    | <b>22,049</b>       | <b>22,177</b>       |
| <b>【負債の部】</b>  |                     |                     |
| 流動負債           | 9,142               | 10,258              |
| 固定負債           | 6,156               | 6,370               |
| <b>負債合計</b>    | <b>15,299</b>       | <b>16,628</b>       |
| <b>【純資産の部】</b> |                     |                     |
| 株主資本           | 6,921               | 5,702               |
| 資本金            | 1,000               | 1,000               |
| 資本剰余金          | 5,675               | 3,675               |
| 利益剰余金          | 544                 | 1,138               |
| 自己株式           | △ 298               | △ 111               |
| 評価・換算差額等       | △ 180               | △ 162               |
| 少数株主持分         | 9                   | 8                   |
| <b>純資産合計</b>   | <b>6,749</b>        | <b>5,548</b>        |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>22,049</b>       | <b>22,177</b>       |

## 連結株主資本等変動計算書 当期(自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)

|                       | (単位:百万円) |              |              |              |              | 評価・換算<br>差額等 | 少数株主<br>持<br>分 | 純資産合計        |
|-----------------------|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|--------------|
|                       | 株主資本     |              |              |              |              |              |                |              |
|                       | 資本金      | 資本剰余金        | 利益剰余金        | 自己株式         | 株主資本合計       |              |                |              |
| 2009年3月31日残高          | 1,000    | 3,675        | 1,138        | △ 111        | 5,702        | △ 162        | 8              | 5,548        |
| <b>当期中の変動額</b>        |          |              |              |              |              |              |                |              |
| 新株の発行                 | 1,000    | 1,000        |              |              | 2,000        |              |                | 2,000        |
| 資本金から剰余金への振替          | △ 1,000  | 1,000        |              |              | —            |              |                |              |
| 剰余金の配当                |          |              | △ 181        |              | △ 181        |              |                | △ 181        |
| 当期純損失(△)              |          |              | △ 412        |              | △ 412        |              |                | △ 412        |
| 自己株式の取得               |          |              |              | △ 187        | △ 187        |              |                | △ 187        |
| 自己株式の処分               |          | △ 0          |              | 0            | 0            |              |                | 0            |
| 株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額) |          |              |              |              |              | △ 18         | 0              | △ 17         |
| <b>当期中の変動額合計</b>      | <b>—</b> | <b>1,999</b> | <b>△ 594</b> | <b>△ 187</b> | <b>1,218</b> | <b>△ 18</b>  | <b>0</b>       | <b>1,201</b> |
| 2010年3月31日残高          | 1,000    | 5,675        | 544          | △ 298        | 6,921        | △ 180        | 9              | 6,749        |

## 連結損益計算書(要旨)

| 科 目                                     | (単位:百万円)                           |                                    |
|---|------------------------------------|------------------------------------|
|   | 当期<br>自 2009年4月 1日<br>至 2010年3月31日 | 前期<br>自 2008年4月 1日<br>至 2009年3月31日 |
| <b>売上高</b>                              | <b>32,215</b>                      | <b>32,538</b>                      |
| 売上原価                                    | 25,671                             | 25,681                             |
| 売上総利益                                   | 6,543                              | 6,856                              |
| 販売費及び一般管理費                              | 5,868                              | 5,951                              |
| <b>営業利益</b>                             | <b>674</b>                         | <b>905</b>                         |
| 営業外収益                                   | 83                                 | 51                                 |
| 営業外費用                                   | 350                                | 251                                |
| <b>経常利益</b>                             | <b>407</b>                         | <b>706</b>                         |
| 特別利益                                    | 19                                 | 4                                  |
| 特別損失                                    | 658                                | 44                                 |
| <b>税金等調整前当期純利益又は<br/>税金等調整前当期純損失(△)</b> | <b>△ 231</b>                       | <b>666</b>                         |
| 法人税、住民税及び事業税                            | 233                                | 308                                |
| 法人税等調整額                                 | △ 52                               | 111                                |
| 少数株主利益                                  | △ 0                                | 6                                  |
| <b>当期純利益又は当期純損失(△)</b>                  | <b>△ 412</b>                       | <b>240</b>                         |

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

| 科 目                      | (単位:百万円)                           |                                    |
|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
|                          | 当期<br>自 2009年4月 1日<br>至 2010年3月31日 | 前期<br>自 2008年4月 1日<br>至 2009年3月31日 |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー     | 2,493                              | 978                                |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー     | △ 1,248                            | △ 8,641                            |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー     | △ 1,336                            | 7,412                              |
| 現金及び現金同等物に係る<br>換算差額     | 5                                  | △ 9                                |
| 現金及び現金同等物の<br>増減額(△は減少額) | △ 87                               | △ 260                              |
| 現金及び現金同等物の<br>期首残高       | 2,462                              | 2,723                              |
| 現金及び現金同等物の<br>期末残高       | 2,375                              | 2,462                              |

## 主要経営指標

|                                   | 当期<br>(2010年3月期) | 前期<br>(2009年3月期) |
|-----------------------------------|------------------|------------------|
| 自己資本比率(%)                         | 30.6             | 25.0             |
| 時価ベースの自己資本比率(%)                   | 22.9             | 27.5             |
| キャッシュ・フロー対有利負債比率(%)               | 347.2            | 1,170.2          |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)               | 13.2             | 7.0              |
| ROE 自己資本当期純利益率(%)                 | △ 6.7            | 4.3              |
| ROA 総資産経常利益率(%)                   | 1.8              | 4.2              |
| EBITDA(百万円)                       | 1,852            | 1,909            |
| DOE 純資産配当率(%)                     | 5.1              | 4.2              |
| 自己資本比率:自己資本/総資産                   |                  |                  |
| 時価ベースの自己資本比率:株式時価総額/総資産           |                  |                  |
| キャッシュ・フロー対有利負債比率:有利負債/営業キャッシュ・フロー |                  |                  |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ:営業キャッシュ・フロー/利払い  |                  |                  |
| 自己資本当期純利益率:当期純利益/自己資本             |                  |                  |
| 総資産経常利益率:経常利益/総資産                 |                  |                  |
| EBITDA:営業利益+減価償却費+のれん償却費          |                  |                  |
| 純資産配当率:配当総額/純資産                   |                  |                  |

※記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 役員(2010年6月24日現在)

|                  |       |                            |
|------------------|-------|----------------------------|
| 代表取締役 会長<br>兼 社長 | 三柴 元  |                            |
| 取締役              | 岡 良貴  | [経営戦略室長]                   |
| 取締役              | 牧野 敏夫 | [社長室長]                     |
| 取締役              | 中川 孟  | [業務変革室、財務・経理本部、総務・人事本部 担当] |
| 常勤監査役            | 畑 康德  |                            |
| 常勤監査役            | 堀内 誠夫 |                            |
| 社外監査役            | 酒井 富雄 |                            |
| 社外監査役            | 網野 猛美 |                            |
| 執行役員             | 齋藤 理  | [LAC代表取締役社長]               |
| 執行役員             | 米田 光伸 | [ITC代表取締役社長]               |
| 執行役員             | 高梨 輝彦 | [A&I代表取締役社長]               |
| 執行役員             | 平林 雄三 | [ISL代表取締役社長]               |
| 執行役員             | 怒和 秀昭 | [事業統括室長]                   |
| 執行役員             | 伊藤 信博 | [財務・経理本部長]                 |
| 執行役員             | 三柴 照和 | [国際事業室長]                   |
| 執行役員             | 岩崎 勝  | [経営管理室長]                   |
| 執行役員             | 山城 隆志 | [業務変革室長]                   |
| 執行役員             | 鎌田 寿雄 | [総務・人事本部長]                 |

## 大株主(2010年3月31日現在)

| 氏名または名称           | 所有株式数(株)  | 所有比率(%) |
|-------------------|-----------|---------|
| 有限会社コスモス          | 8,000,000 | 29.98   |
| KDDI株式会社          | 1,414,200 | 5.29    |
| 三柴 元              | 1,147,200 | 4.29    |
| ラックホールディングス株式会社   | 1,096,600 | 4.10    |
| ラックホールディングス従業員持株会 | 929,710   | 3.48    |
| 三菱商事株式会社          | 870,000   | 3.26    |
| 株式会社サウンドハウス       | 773,800   | 2.89    |
| 中島 尚彦             | 554,800   | 2.07    |
| 株式会社ユーシン          | 398,400   | 1.49    |
| 株式会社クレスコ          | 355,000   | 1.33    |

※有限会社コスモスは、当社代表取締役社長三柴 元およびその親族が株式を保有する資産管理会社であります。